

# 安 全 報 告 書

－ 平成 28 年度 －

## 1. 利用者はじめ地元の皆さまへ

いつも水島臨海鉄道をご利用いただき誠に有難うございます。

また、平素は鉄道事業に対してご理解、ご協力をいただき、感謝申し上げます。

当社は、経営理念の第一に安全の最優先を掲げ、法律の遵守とともに安全輸送に努めております。

この報告書は、鉄道事業法に基づき、輸送の安全の確保のための取組みや安全の実態についてまとめたもので、広くご理解いただくために公表するものです。皆さまからの声を輸送の安全に役立てたく、是非、率直なご意見を頂戴できれば幸いです。

水島臨海鉄道株式会社 代表取締役社長 伊東 香織

## 2. 輸送の安全を確保するための基本的方針と安全目標

### (1) 基本方針

当社の経営理念は第一に安全の最優先です。「基本方針」を次のとおり「安全綱領」として定め、社長以下社員全員に周知徹底しています。

- ① 安全の確保は、輸送の生命である。
- ② 規程の遵守は、安全の基礎である。
- ③ 執務の厳正は、安全の要件である。

### (2) 安全目標

当社では、経営トップを含め全社一丸となって安全管理体制の強化を推進しています。

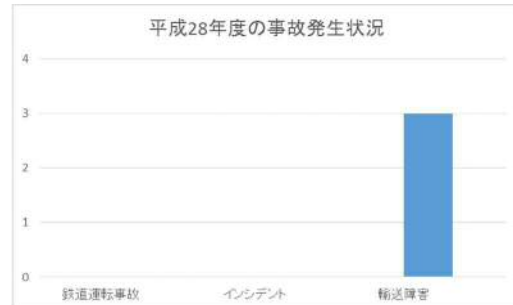
平成 28 年度は「一つ一つ確実に 安全と信頼を守る 基本動作の徹底」をスローガンに、社員一同「無事故達成」の目標に向けて取り組みました。

なお、平成 29 年度は「ヒヤリハットを忘れるな 徹底しよう正しい作業」をスローガンに掲げ、「無事故達成」に向けて取り組む所存です。

### 3. 平成 28年度の事故発生状況

輸送障害については、車両原因、保安装置原因、火災（部外）原因による3件の発生となりました。

(1) 鉄道運転事故	0件
(2) インシデント	0件
(3) 輸送障害	3件



### 4. 安全確保の取組み

#### (1) 安全推進会議

- ・2カ月に一回、グループ会社の参加も得て本社において開催しました。
- ・運転事故や労働災害の防止を図るため、自社・他社で発生した事故例について審議し、有効な対策の策定、推進を行うことに努めました。



#### (2) 乗務員指導訓練の実施

- ・全乗務員に対して、計画的に教育・訓練を実施し、車両故障時等の迅速な対応等を含め、資質の維持・向上に努めました。

#### (3) 輸送安全総点検の実施（12月10日～1月10日）

- ・年末年始における輸送の安全確保及び障害事故防止に万全を期するため、本社社員により各職場の安全管理の実施状況の確認を行いました。
- ・年末に本社社員による列車添乗を実施し、安全・安心輸送の確保に努めました。

#### (4) 踏切事故防止キャンペーンの実施（11月1日～11月10日）

- ・踏切道、踏切保安設備等の点検整備を行いました。
- ・児童、学生を含めて通行量の多い「村東道踏切」及び工場に大型トラックが出入する「板敷踏切」において事故防止のチラシを配布し、踏切事故防止の啓発活動を実施しました。

（11月8日）

- ・キャンペーン期間中は、関係箇所に立て看板を設置するとともに車内放送により事故防止の啓発活動を実施しました。



## (5) ヒヤリ・ハットの定着

- ・ヒヤリ・ハット評価委員会を月1回開催して、報告内容の検討と社員への定着の取組みに努めました。
- ・ヒヤリ・ハット報告に対する取組みとして、東水島駅構内において安全運転キャンペーンを実施し、トラック運転手に対して駅構内の安全通行の意識向上を図りました。

(11月15日)



## (6) 安全のための車両及び施設の整備・点検等の実施

- ・安全の維持・向上のため車両・施設等について投資や点検、整備を実施しました。

<車両関係>

- ① 列車無線機更新工事（車載型2台、携帯型3台 計5台）
- ② 車両の保守・点検整備の実施
  - ・月検査 52両（気動車…43両・機関車…9両）
  - ・全般検査 3両（気動車…3両）

<施設関係>

- ① CTC装置更新工事（中央及び4駅）
- ② 倉敷貨物ターミナル駅表示盤・制御盤取替え工事（一式）
- ③ 西埠頭線廃止に伴う臨港第一踏切警報灯設置及び遮断機増設
- ④ 電気踏切遮断機更新工事（四十瀬踏切 2組）
- ⑤ 電気転てつ器取替え工事（倉敷貨物ターミナル駅 2台）
- ⑥ PCマクラギ化工事（港東線 175m）
- ⑦ 分岐器部分更換（西富井52号トングレール）
- ⑧ 分岐マクラギ更換（78本）
- ⑨ 総突き固め及び通り直し（400m）
- ⑩ 西富井架道橋塗装工事（南中学校角）

【①CTC センター：更新後】



【③西埠頭線撤去前】



【③西埠頭線撤去後】



(7) 安全と旅客サービス向上の実施

・安全と旅客サービス向上のため工事を実施しました。

① 福井駅照明設備取替工事（LED化）

【設備取替工事前】



【設備取替工事後】



② 西富井高架下剥落防止ネット設置工事（7ヶ所）

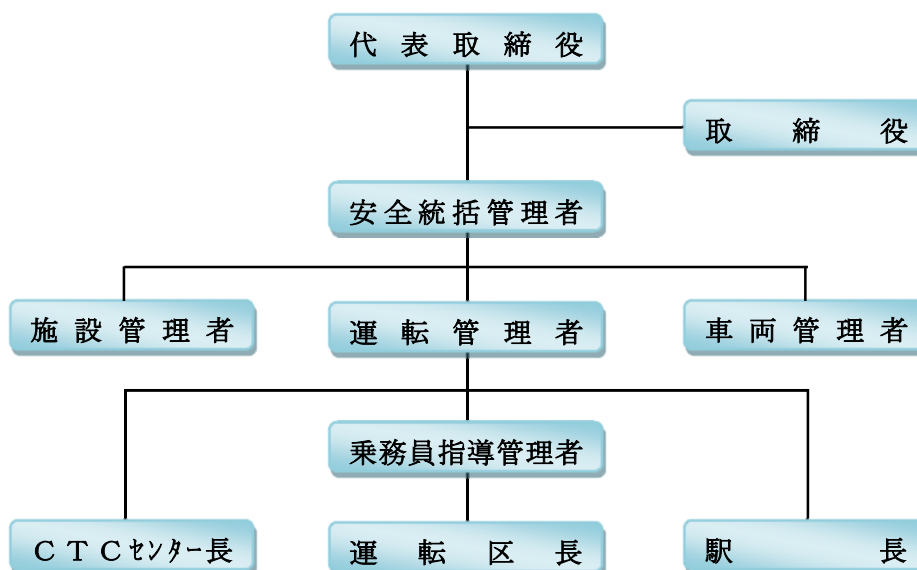
【設備取替工事前】



【設備取替工事後】



## 5. 安全管理体制図及び役割分担



役 職	役 割
代 表 取 締 役	・ 輸送の安全の確保に関する最終的な責任を負う
安 全 統 括 管 理 者	・ 輸送の安全の確保に関する業務を統括管理する
運 転 管 理 者	・ 安全統括管理者の指揮の下、運転及び事故に関する事項を統括する
乗 務 員 指 導 管 理 者	・ 運転管理者の指揮の下、運転士の資質保持に関する事項を管理する
施 設 管 理 者	・ 安全統括管理者の指揮の下、施設に関する事項を統括する
車 両 管 理 者	・ 安全統括管理者の指揮の下、車両に関する事項を統括する

# 安 全 報 告 書

—平成 27年度—

## 1. 利用者はじめ地元の皆さまへ

いつも水島臨海鉄道をご利用いただき誠に有難うございます。

また、平素は鉄道事業に対してご理解、ご協力をいただき、感謝申し上げます。

当社は、経営理念の第一に安全の最優先を掲げ、法律の遵守とともに安全輸送に努めております。

この報告書は、鉄道事業法に基づき、輸送の安全の確保のための取組みや安全の実態についてまとめたもので、広くご理解いただくために公表するものです。皆さまからの声を輸送の安全に役立てたく、是非、率直なご意見を頂戴できれば幸いです。

水島臨海鉄道株式会社 社 長 伊東 香織

## 2. 輸送の安全を確保するための基本的方針と安全目標

### (1) 基本方針

当社の経営理念は第一に安全の最優先です。「基本方針」を次のとおり「安全綱領」に定め、社長以下社員全員に周知徹底しております。

- ① 安全の確保は輸送の生命である。
- ② 規定の遵守は安全の基礎である。
- ③ 執務の厳正は、安全の要件である。

### (2) 安全目標

当社では、経営トップを含め全社一丸となって安全管理体制の強化を推進しています。

平成 27 年度は「慣れと油断が危険を招く 指差し声だし 忘れるな」をスローガンに、社員一同「無事故達成」の目標に向けて取り組みました。

なお、平成 28 年度は「一つ一つ確実に 安全と信頼守る 基本動作の徹底」をスローガンに掲げ、「無事故達成」に向けて取り組む所存です。

### 3. 平成 27年度の事故発生状況

輸送障害については、車両原因と保安装置原因による 3 件の発生となりました。

- |            |     |
|------------|-----|
| (1) 鉄道運転事故 | 0 件 |
| (2) インシデント | 0 件 |
| (3) 輸送障害   | 3 件 |

### 4. 安全確保の取組み

#### (1) 安全推進会議

・運転事故や労働災害の防止に関する事項を審議し、有効な対策の策定・推進を行うことを目的とし、本社において隔月で開催しました。

自社・他社で発生した事故例を基に、グループ会社も参加して、対策等について検討・討議して、事故防止に努めました。

#### (2) 乗務員指導訓練の実施

・乗務員に対して、計画的に教育を実施し、車両故障時等の迅速な対応や資質の維持・向上に努めました。



#### (3) 異常時対応訓練

・JR西日本との合同訓練を実施しました。

訓練内容は、山陽本線と当社線の並行区間の踏切で自動車と衝突した場合を想定して、安全の確保を前提に人命を最優先とした対応訓練としました。(11月12日)

・異常時(震確実な連絡と指示方の訓練を実施しました。(11月26日)



《JR西日本との合同訓練実施》

#### (4) 輸送安全総点検の実施 (12月10日～1月10日)

- ・年末年始における輸送の安全及び障害事故防止に万全を期するため、各職場における安全管理の実施状況の確認を行いました。

#### (5) 踏切事故防止キャンペーンの実施 (11月1日～11月10日)

- ・踏切道、踏切保安設備等の点検整備を行いました。
- ・村東道踏切においては、小中学生を中心に、また板敷踏切においては大型トラックを中心にチラシ・グッズを配布して、踏切事故防止の啓発活動を実施しました。(11月4日)
- ・キャンペーン期間中に立て看板及び車内放送で事故防止の啓発活動を実施しました。



《村東道踏切にて啓発活動》

#### (6) ヒヤリ・ハットの定着

- ・ヒヤリ・ハットボックスを各現場に設置し、運転事故・労働災害の未然防止のため、社員全員に定着できるよう推進しました。
- ・ヒヤリ・ハット報告に対する取り組みとして、東水島駅構内安全運転キャンペーンを実施しました。(12月3日)



《東水島駅構内にて注意喚起》

#### (7) 安全のための車両及び施設の整備・点検等の実施

- ・安全の維持・向上のため車両・施設等について投資や点検、整備を実施しました。

<車両関係>

- ① 「運転状況記録装置設置」と「防護無線の二重化」の工事の実施

※ 山陽本線を走行する機関車

- ② 車載型無線機更新工事 (5台)

- ③ 車両の保守・点検整備の実施

- ・月検査 51両 (気動車…43両・機関車…8両)
- ・重要部検査 2両 (気動車)
- ・全般検査 3両 (気動車…2両、機関車…1両)



《運転状況記録装置》



<施設関係>

- ① 風速監視装置更新工事（水島本線）
- ② 電気踏切遮断機更新工事（四十瀬踏切、安江踏切）
- ③ ガードレール設置（東水島駅構内：2箇所）
- ④ クロッシング交換工事（東水島：2台）
- ⑤ 信号ケーブル取替工事（天理教踏切：365m）
- ⑥ 電気転てつ機取り換え工事（倉敷貨物ターミナル駅：2台） 《ガードレール設置》
- ⑦ 信号トラフ取換工事（水島本線・村東道～安江：238m）



**(9) 安全と旅客サービス向上の実施**

- ① 福井団地踏切、福井踏切の踏切警報灯取替えと踏切支障報知装置（非常ボタン）を設置し通行者の安全を確保
- ② 倉敷市駅の自動券売機の取替（一台）を行い購入時の利便性を向上
- ③ 浦田駅ホームの照明設備をLEDに取替え
- ④ 福井駅法面を補修し、歩行者の安全を確保



《福井団地踏切》



《福井踏切》

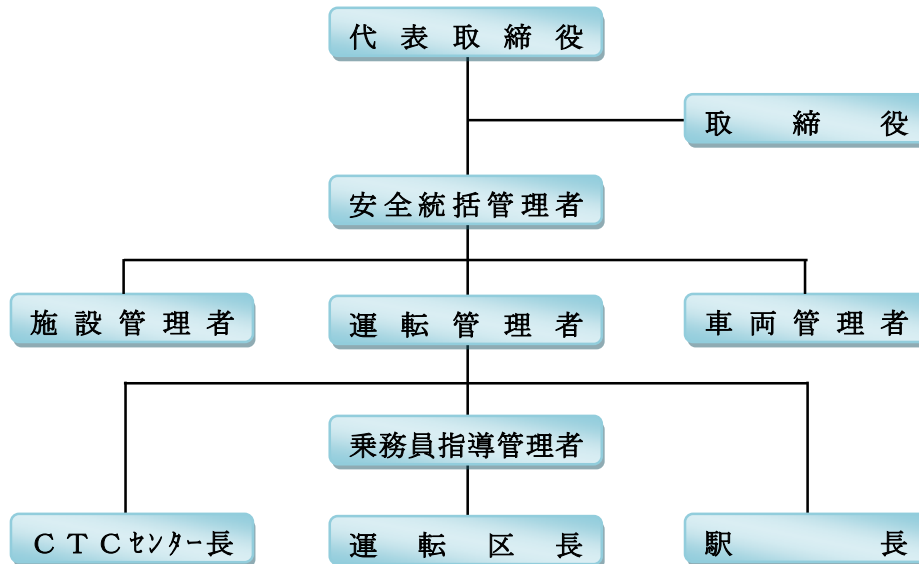


《福井駅法面を補修①》



《福井駅法面を補修②》

## 5. 安全管理体制図及び役割分担



役 職	役 割
代 表 取 締 役	・ 輸送の安全の確保に関する最終的な責任を負う
安 全 統 括 管 理 者	・ 輸送の安全の確保に関する業務を統括管理する
運 転 管 理 者	・ 安全統括管理者の指揮の下、運転及び事故に関する事項を統括する
乗 務 員 指 導 管 理 者	・ 運転管理者の指揮の下、運転士の資質保持に関する事項を管理する
施 設 管 理 者	・ 安全統括管理者の指揮の下、施設に関する事項を統括する
車 両 管 理 者	・ 安全統括管理者の指揮の下、車両に関する事項を統括する

# 安 全 報 告 書

— 平成 26 年度 —

## 1. 利用者はじめ地元の皆様へ

いつも水島臨海鉄道をご利用いただき誠に有難うございます。また、平素は鉄道事業に対しましてご理解、ご協力を頂き、感謝申し上げます。

当社は、経営理念の第一に安全の最優先を掲げ、法律の遵守とともに安全輸送に努めております。

この報告書は、鉄道事業法に基づき、輸送の安全確保のための取組みや安全の実態についてまとめたもので、広くご理解いただくために公表するものです。皆様からの声を輸送の安全に役立てたく、是非、率直なご意見を頂戴できれば幸いです。

水島臨海鉄道(株) 社長 伊東 香織

## 2. 輸送の安全を確保するための基本的方針と安全目標

### ■ 基本方針

当社の経営理念は第一に安全の最優先です。「基本方針」を次のとおり「安全綱領」に定め、社長以下社員全員に周知徹底しております。

1. 安全の確保は輸送の生命である。
2. 規程の遵守は安全の基礎である。
3. 執務の厳正は安全の要件である。

### ■ 安全目標

当社では、経営トップを含め全社一丸となって安全管理体制の強化を推進しています。平成 26 年度は「小さな見落とし、大きな危険、忘れるな、指差し確認」をスローガンに、社員一同「無事故達成」の目標に向けてとりくみました。

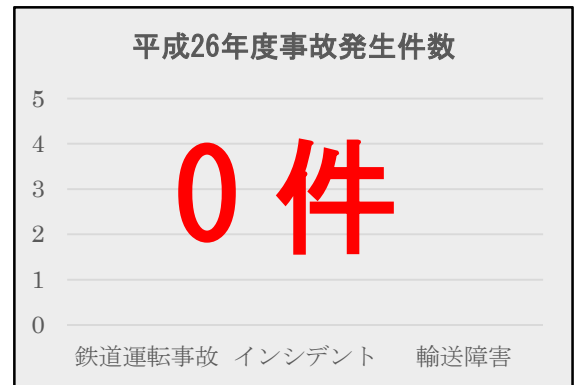
尚、平成 27 年度は「慣れと油断が危険を招く、指差し・声出し、忘れるな」をスローガンに掲げ「無事故達成」に向けて取り組む所存です。

# 3. 平成 26 年度の事故発生状況

## ■ 事故発生件数

平成 26 年度事故発生件数については下記のとおりです。

- (1) 鉄道運転事故 0 件
- (2) インシデント 0 件
- (3) 輸送障害 0 件



# 4. 安全確保の取組み

## ■ 走行中の列車の安全性向上

- ・ 信号及び踏切保安設備の検査・修繕工事を実施しました。
- ・ 線路保守工事で本線の木まくらぎからPC（コンクリート）まくらぎ化工事を実施しました。
- ・ 列車無線装置の定期検査を実施しました。
- ・ 車両の検査、修繕工事を実施しました。

## ■ 異常時対応訓練

- (1) 異常時（震度 4）を想定した、CTCセンターと乗務員及び本店間において、確実な連絡・指示方の訓練（9月25・26日）を実施しました。

◎乗務員とCTCセンターとの確実な連絡



(CTC)



(乗務員)

(2) JR西日本との合同訓練（11月4日）を実施しました。

JR西日本旅客鉄道線との並行区間において、鉄道人身事故等が発生した場合、安全の確保を前提に人命を最優先とした事故対応の会社間連携を確認しました。



### ■ 安全推進会議

- ・ 運転事故及び労働災害事故防止について、自社、他社の事故例を参考に、グループ会社を含めて安全対策について検証し、事故防止に努めました。

◎グループ会社を含め真剣に討議（2ヶ月に1回）



### ■ 乗務員指導訓練の実施

- ・ 全乗務員に対して、教育・訓練を隔月実施し、乗務員の資質保持・向上に努めました。

◎乗務員の机上教育と実車訓練



信号と安全運転について



故障時の応急処置方

## ■ 輸送安全総点検の実施及びテロ対策の再点検（12月10日～1月10日）

- ・年末年始に各職場で点検を行い、基本動作・基本作業等「安全作業」の確認を行いました。
- ・各駅でゴミ箱等の点検を実施し不審物のチェックを行いました。
- ・主要駅において防犯カメラによる監視を実施しました。

## ■ 踏切事故防止キャンペーンの実施（11月1日～11月10日）

- ・児童・学生を含めて通行量の多い「村東道踏切」及び工場に大型トラックが出入りする「板敷踏切」にて、事故防止のチラシ等配布し、踏切事故防止の啓発活動を実施しました。
- ・キャンペーン期間中に立て看板及び車内放送で事故防止の啓発活動を実施しました。



村東道踏切で児童に踏切横断  
「左右を確認してね！」



板敷踏切でトラックの運転士へ  
「一旦停止を！」

## ■ ヒヤリハットの推進と定着

- ・ヒヤリハット委員会を設置し、運転事故・労働災害事故の未然防止のため、全社員に定着できるよう推進しました。
- ・ヒヤリハット報告の報告内容に応じて、対処すべき事柄については速やかに対応しました。その結果本年度は、運転事故、労働災害は0件で推移しました。

### ◎ヒヤリハット優秀賞授賞式の様子



## ■ 安全のための車両及び施設の整備・点検の実施

- ・安全の維持、向上のため、線路保守・信号保安設備・踏切保安設備・通信設備・車両整備の投資や保守・点検・整備を確実に実施しました。

### (1) 車両の整備、保守、点検市整備

- ・月検査 59両（気動車…49両、機関車…10両）
- ・重要部検査 3両（気動車）
- ・全般検査 1両（機関車）

#### ◎「安全第一」入念に確実な月検査（左）と全般検査（右）



### (2) 施設の保守、整備、点検

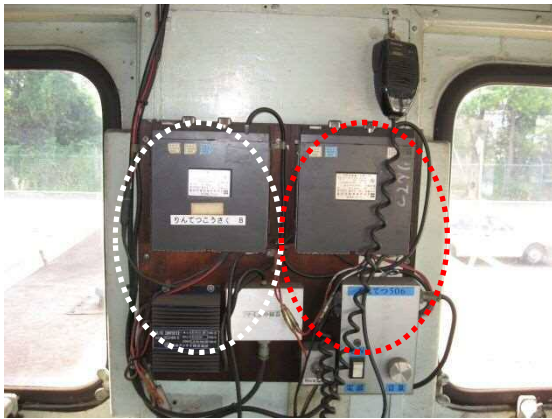
- ・PCまくらぎ交換工事（200本）



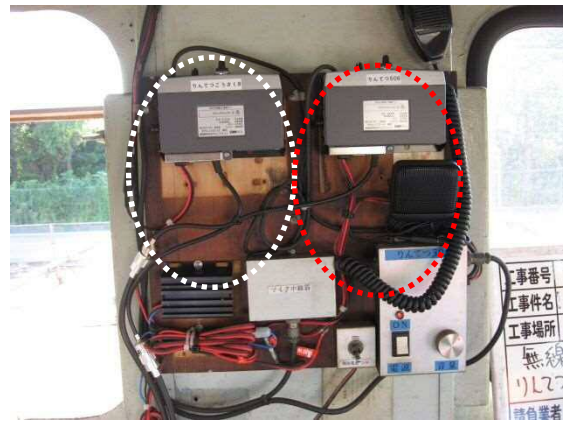
- ・踏切保安設備の工事



- ・列車無線及び入換無線装置の取換



施工前



施工後

## ■ 安全と旅客サービス向上の実施

- ・車いすで乗り降りの際の乗降板を幅広くしました。



## ■ 「こども 110 番」への取り組み

地域社会の人々に、より一層安心して鉄道施設をご利用いただくことを目的として、「こども 110 番の駅」の取り組みを実施しています。

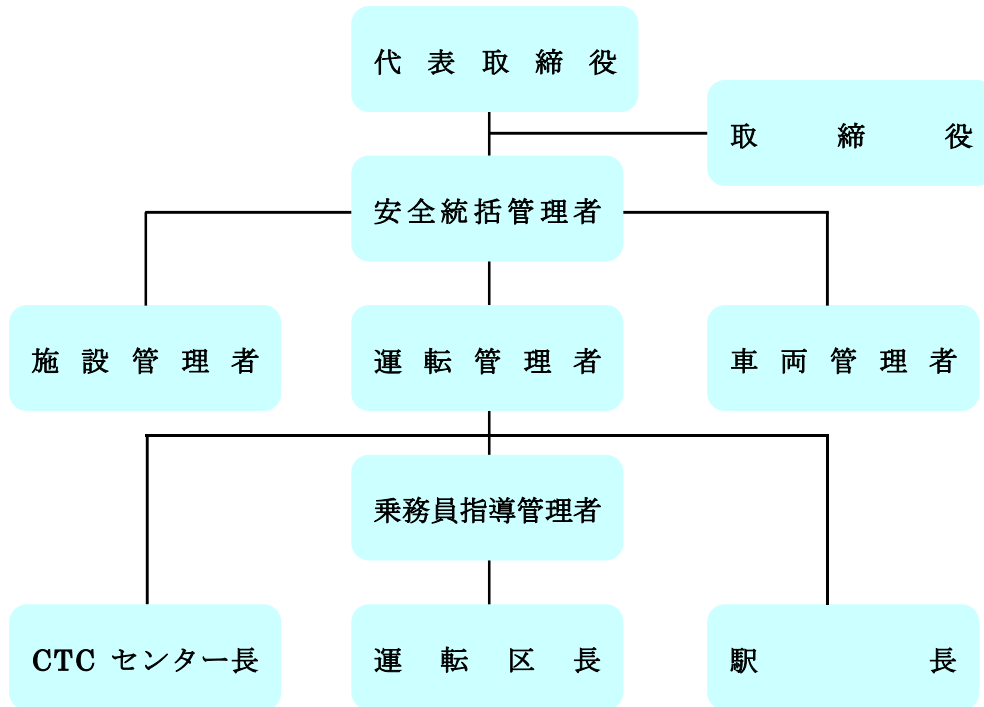
これは、子どもが犯罪に巻き込まれそうになり、駅に助けを求めた際に保護し、子どもに代わって 110 番通報を行うなどの対応をとるものです。



「こども 110 番の駅」ステッカー



# 5. 安全管理体制図及び役割分担



役 職	役 割
代 表 取 締 役	・ 輸送の安全の確保に関する最終的な責任を負う
安 全 統 括 管 理 者	・ 輸送の安全確保に関する業務を統括管理する
運 転 管 理 者	・ 安全統括管理者の指揮の下、運転及び事故に関する事項を統括する
乗 務 員 指 導 管 理 者	・ 運転管理者の指揮の下、運転士の資質保持に関する事項を管理する
施 設 管 理 者	・ 安全統括管理者の指揮の下、施設に関する事項を統括する
車 両 管 理 者	・ 安全統括管理者の指揮の下、車両に関する事項を統括する